

第14回 下水道における新たなPPP/PFI事業の促進に向けた検討会 議事概要

日時：平成30年3月1日(火) 15:00~17:00
場所：日本下水道協会 会議室1~3
資料：配布資料ご参照(資料1~7、参考資料1~2)

議事

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 議題
 - (1) 下水道分野におけるPPP/PFIを含む政府の最新動向
 - (2) コンセッション方式における物価変動の考え方について
 - (3) コンセッションにおけるデューデリジェンス等について(須崎市・三浦市)
 - (4) コンセッション等に関する導入可能性調査等について(宇部市・小松市・周南市)
 - (5) 広域化に関する検討状況について(岩手町)
4. 閉会

【概要】

<コンセッションにおけるデューデリジェンス等について(須崎市・三浦市)>

○管渠の状況は、地理的な要因も影響を受け、例えば、海岸線の砂浜沿いの管渠では、不具合の多くは土砂の堆積によるものである。

○コンセッション方式を導入しても、大雨などの緊急時対応等が残るため、適正な職員数の確保が重要である。

<コンセッション等に関する導入可能性調査等について(宇部市・小松市・周南市)>

○全国的に管路の包括的民間委託の導入が進めば、大手の民間事業者も人員不足となり、地場企業の活用も合わせて検討する必要がある。

○処理施設と管路施設の民間委託の方法を検討した際に、民間事業者にアンケートを実施し、スキームを決定した。

<広域化に関する検討状況について(岩手町)>

○広域化のスキーム検討にあたっては、経営一体化や事業統合への直接の移行は難易度が高いため、管理一体化から始め移行していく方法が考えられる。

○共同発注に向けては、周辺の市町村との勉強会等を行い、課題認識を共有する方法が考えられる。

<その他>

○包括的民間委託を更新するたびに競争性の確保が課題となり、適宜委託範囲等の検討が必要である。